学校番号	３１８

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達と保育について２年間にわたって学習します。ここでは幼児を中心とした学習内容を学びます。
・実習を通して、子どもの食事や生活・遊びと養護を学習していきます。積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合ったり，子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して，子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 写真、製作品 観察記録表 レポート、発表 定期考査、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作計画、 実習記録表 観察記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月～5月	子どもの遊び	学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解 ・玩具の特徴と遊び方 ・玩具が発達にもたらす影響 ・造形実習案	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a. 子どもの遊びや生活習慣について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b. 子どもの発育・発達を促すための望ましい生活の諸条件について思考し、考えをまとめている。 c. 実習を通して、子どもの遊びや生活習慣の形成に必要な養護の技能を身に付けている。 d. 遊び、生活習慣の形成の意義と重要性を理解している。	授業観察 ワークシート レポート
6月～7月	子どもの発達と過程	・子どもの発達と過程 ＊子どもの精神発達の特徴 ＊幼児観察 保育園・子育て支援センターの幼児の様子を観察し記録する。	○ ○	○ ○	 ○	○	a. 幼児の発達の特徴について関心をもっている。 b. 幼児の発育・発達に及ぼす影響についてにさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c. 幼児の発達の観点から、親のとるべき行動を推察し，母性・父性の関わり方に生かすことができる。 d. 幼児の身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 ワークシート 実習記録 定期考査

8月～9月	子どもと共に育つ	・幼児の身体的・生理的特徴″ ・幼児を取り巻く社会環境の変化 ・家庭保育と集団保育	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a. 発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。 b. 子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考えを深めている。 c. 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 d. 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査
10月～12月	生活と養護	・幼児の生活 ・幼児栄養と食事 ＊幼児食実習	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 子どもに対するイメージを膨らませ実践的・体験的な学習を通して学習に取り組もうとしている。 b. 子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を捉え、子どもにとってよい環境について考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 c. 子どもの生活や遊びについて調査・観察したことをまとめ、発表することができる d. 子どもの生活の概要を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録 定期考査

1 月 ～ 3 月	子育て支援	・社会的支援の必要性 ＊子育て家庭が直面する課題 ＊子どもをとりまく社会的支援の背景の把握 ＊幼児教育について ・子どもの福祉	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。 b. 子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c. 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 d. 子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。新生児期から乳児期までの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。